

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 7 月 27 日



上場会社名 株式会社 ルネサンス

上場取引所 東証第一部

コード番号 2378

URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）斎藤 敏一

問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員経理財務本部長（氏名）渡邊 清 TEL (03) 5600-5312

（百万円未満切捨て）

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 1 四半期	7,961 (9.5)	△369 (—)	△376 (—)	△237 (—)
19 年 3 月期第 1 四半期	7,272 (8.6)	282 (△8.4)	256 (△13.1)	109 (—)
19 年 3 月期	31,344 (8.9)	1,417 (△43.8)	1,331 (△46.1)	679 (△43.9)

	1 株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	△11 92	— —
19 年 3 月期第 1 四半期	5 50	— —
19 年 3 月期	34 03	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	20,215	7,339	36.3	367 70
19 年 3 月期第 1 四半期	19,046	7,507	39.4	376 10
19 年 3 月期	19,701	7,827	39.7	392 14

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	△135	△642	765	427
19 年 3 月期第 1 四半期	116	△353	1,933	1,994
19 年 3 月期	2,039	△3,568	1,640	440

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金
(基準日)	第 1 四半期末
19 年 3 月期第 1 四半期	円 銭 — —
20 年 3 月期第 1 四半期	— —

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中 間 期	17,000 (11.4)	100 (△89.1)	50 (△94.2)	10 (△97.8)	0 50
通 期	35,000 (11.7)	1,500 (5.9)	1,400 (5.1)	700 (3.1)	35 07

※平成 20 年 3 月期の業績予想につきましては、中間期、通期とも平成 19 年 5 月 8 日公表の当初予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）は、利益面においては赤字となっておりますが、当初予想には織り込み済みであり、下記のとおり概ね順調に推移しております。

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期の業績予想と実績との比較（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 19 年 5 月 8 日公表予想	8,000	△450	△500	△300
実績	7,961	△369	△376	△237
差異	△38	80	123	62

売上高は 79 億 61 百万円（前年同期比 9.5%増）、営業利益は△3 億 69 百万円（前年同期比 6 億 51 百万円減）、経常利益は△3 億 76 百万円（同 6 億 32 百万円減）、四半期純利益は△2 億 37 百万円（同 3 億 47 百万円減）となりました。

第 1 四半期を赤字予想とした第一の要因は、当第 1 四半期に前年同期比 2 倍にあたる 4 直営新規クラブをオープンすることによる初期費用の増大が見込まれたこと、第二の要因は、既存クラブの会員数が平成 19 年 3 月末で前年同月比 2.6%減となったため、その会員数と会費収入を早期に回復させるための販売促進施策を特に当第 1 四半期に集中して行うことにしたためですが、実際の業績は概ね順調に推移し、クラブ人員の効率的配置、管理費の削減などを図った結果、当初予想に対し利益面で上回ることができました。

なお、既存クラブの会員数は、各種の販売促進施策を実施した結果、下記のとおり当第 1 四半期末で前年同月比 0.2%増まで回復し、既存クラブの売上高の減少は前年同期比 1.6%減にとどまりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移（単位：%）

	4 月	5 月	6 月
前年同月比	△1.8	△0.6	+0.2

当第 1 四半期においては、新規のクラブとして、4 月に登美ヶ丘（奈良県奈良市）、浦安（千葉県浦安市）、6 月に西国分寺（東京都国分寺市）、福岡ダイヤモンドシティ・ルク（福岡県粕屋町）の直営 4 クラブを出店いたしました。

この結果、当第 1 四半期末のクラブ数は、直営 87 クラブ、業務受託 6 クラブ、フランチャイズ 1 クラブの計 94 クラブとなりました。

なお、既存クラブについては、会員数の回復に向けて、多様な顧客のニーズに対応した会員種別の導入、新聞折り込みチラシ内容や投入エリア及び投入量の見直し、クラブホームページの全面的リニューアルなどに着手しております。

また、6 月に横浜（横浜市西区）、福岡大橋（福岡市南区）の 2 クラブをリニューアルし、競争力の強化を図っております。

スタジオ・プログラムの展開としては、バランスボールをドラムに見立ててドラミングしていく、「POWER DRUM（パワードラム）」を 4 月より導入いたしました。このプログラムは、音と振動によりライブ会場のような一体感を生み出す特徴があり、会員の皆様に好評をいただいております。

さらに、女性専用のサーキットトレーニング・ジム「Body Q't（ボディ キュット）」につい

て、既存クラブの近隣に開設する「サテライト・タイプ」として4月に千歳船橋（東京都世田谷区「ルネサンス千歳船橋」近隣）、既存のクラブ内に開設する「クラブ・イン・タイプ」として5月に港南中央（横浜市港南区「ルネサンス港南中央」内）、6月に鶴間（神奈川県大和市「ルネサンス鶴間」内）、天王町（横浜市保土ヶ谷区「ルネサンス天王町」内）の4店舗を出店いたしました。今後、「Body Q' t」は、「クラブ・イン・タイプ」を中心に多店舗展開し、新たな顧客層の開拓とクラブ事業の活性化を図ってまいります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期末の総資産は、202億15百万円で前期末に比べ5億14百万円増加いたしました。これは主に新規クラブの建物設備や既存クラブの更新設備などを取得したことにより、有形固定資産が1億89百万円増加したことと、新規クラブ開設に伴い敷金・保証金を差し入れたことなどにより、投資その他の資産が3億36百万円増加したことなどによるものであります。

当第1四半期末の負債総額は、128億75百万円で前期末に比べ10億1百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が11億円増加したことなどによるものであります。

また、当第1四半期末の純資産は、73億39百万円で前期末に比べ4億87百万円減少いたしました。これは四半期純利益△2億37百万円による減少と配当金2億49百万円の支払いなどによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前期末に比べ12百万円減少し、4億27百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金の減少は、1億35百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純損失3億91百万円、減価償却費3億60百万円、前払費用の増加1億40百万円などによるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動に使用した資金は、6億42百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出5億88百万円、敷金・保証金の差入による支出1億4百万円などによるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動により得た資金は、7億65百万円となりました。これは主として短期借入金純増加額11億円、配当金の支払額2億49百万円などによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期の業績については、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも概ね計画通りに推移いたしております。よって、中間期並びに通期の業績予想については、平成 19 年 5 月 8 日の公表数値から変更はいたしていません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当事業年度より法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得する有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。この変更に伴う営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	434	427	△7	△1.6	440
2 売掛金	483	593	109	22.6	574
3 たな卸資産	535	545	10	1.9	553
4 短期貸付金	1,560	—	△1,560	—	—
5 その他	1,069	1,033	△35	△3.4	1,021
貸倒引当金	—	△20	△20	—	—
流動資産合計	4,083	2,580	△1,503	△36.8	2,590
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	4,703	5,673	970	20.6	5,649
(2) 工具器具備品	956	1,226	269	28.2	1,049
(3) その他	1,080	1,181	101	9.3	1,193
有形固定資産合計	6,740	8,081	1,340	19.9	7,892
2 無形固定資産	465	516	50	10.9	518
3 投資その他の資産					
(1) 長期貸付金	715	1,084	368	51.6	1,090
(2) 敷金・保証金	5,676	6,477	800	14.1	5,892
(3) その他	1,377	1,488	110	8.0	1,730
貸倒引当金	△12	△12	—	—	△12
投資その他の資産合計	7,756	9,036	1,280	16.5	8,700
固定資産合計	14,962	17,635	2,672	17.9	17,110
資産合計	19,046	20,215	1,168	6.1	19,701

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	290	508	217	75.0	386
2 買掛金	188	108	△79	△42.2	125
3 短期借入金	5,153	6,580	1,427	27.7	5,480
4 前受金	1,032	783	△248	△24.1	799
5 賞与引当金	209	192	△17	△8.2	389
6 その他	2,010	2,459	448	22.3	2,369
流動負債合計	8,884	10,632	1,748	19.7	9,551
II 固定負債					
1 長期借入金	1,640	1,185	△455	△27.7	1,270
2 退職給付引当金	412	488	75	18.4	467
3 その他	603	570	△32	△5.4	585
固定負債合計	2,655	2,243	△412	△15.5	2,322
負債合計	11,539	12,875	1,336	11.6	11,874
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	2,210	2,210	—	—	2,210
2 資本剰余金	2,146	2,146	—	—	2,146
3 利益剰余金	3,147	2,979	△167	△5.3	3,467
株主資本合計	7,504	7,337	△167	△2.2	7,824
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	2	2	△0	△10.2	2
評価・換算差額等合計	2	2	△0	△10.2	2
純資産合計	7,507	7,339	△167	△2.2	7,827
負債、純資産合計	19,046	20,215	1,168	6.1	19,701

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	7,272	7,961	688	9.5	31,344
II 売上原価	6,596	7,941	1,345	20.4	28,401
売上総利益	676	19	△656	△97.1	2,942
III 販売費及び 一般管理費	393	388	△4	△1.2	1,525
営業利益	282	△369	△651	—	1,417
IV 営業外収益	9	12	2	31.8	56
V 営業外費用	35	18	△16	△47.3	141
経常利益	256	△376	△632	—	1,331
VI 特別利益	—	3	3	—	0
VII 特別損失	46	19	△26	△58.1	92
税金等調整前 四半期(当期)純利益	209	△391	△601	—	1,240
税金費用	100	△153	△253	—	561
四半期(当期)純利益	109	△237	△347	—	679

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益(△純損失)	209	△391	1,240
減価償却費	295	360	1,375
売上債権の増加額	△14	△18	△98
たな卸資産の減少額(△増加額)	△79	7	△91
前払費用の増加額	△161	△140	△30
仕入債務の増加額	163	105	192
前受金の増加額(△減少額)	126	△16	△132
その他	△84	1	340
小 計	454	△92	2,795
利息及び配当金の受取額	1	0	3
利息の支払額	△5	△12	△55
法人税等の支払額	△334	△31	△704
営業活動によるキャッシュ・フロー	116	△135	2,039
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△97	△588	△1,481
無形固定資産の取得による支出	△30	△26	△160
有形固定資産売却による収入	—	48	4
敷金・保証金の差入による支出	△185	△104	△1,274
その他	△41	29	△656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353	△642	△3,568
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増加額	2,150	1,100	1,200
長期借入金返済による支出	△17	△85	△610
配当金の支払額	△199	△249	△449
その他	—	—	1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,933	765	1,640
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	1,695	△12	111
V 現金及び現金同等物の期首残高	299	440	299
VI 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	29
VII 現金及び現金同等物の第 1 四半期末 (期末) 残高	1,994	427	440